

令和2年度

羽幌町教育委員会
事務点検・評価報告書

(平成31年度事業対象)

令和3年2月

も く じ

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の流れ	
	(4) 学識経験者の知見の活用	
2	教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(1) 教育委員会議の開催及び審議状況	
	(2) 教育委員会議以外の活動状況	
3	点検・評価報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	《学校教育》	
	(1) 教育を推進するための条件整備	
	(2) 教育環境の整備	
	(3) 地域とともにある学校づくり	
	(4) 教育の質を高められる環境づくり	
	(5) 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり	
	(6) 高等学校教育の振興と幼児教育の推進	
	(7) 学校給食の充実	
	《社会教育》	
	(1) 幼児・青少年教育	
	(2) 成人教育	
	(3) 家庭教育	
	(4) 健康づくり、スポーツ活動	
	(5) 文化活動	
	(6) 読書活動	
4	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	平成31年度 羽幌町教育行政執行方針	

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会において、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受け、羽幌町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、毎年度、教育委員会の点検・評価を行うことといたしました。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほかに、「平成31年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の実施状況について点検・評価の対象としました。

(3) 点検・評価の流れ

「点検・評価報告書」については、「平成31年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の内容、事業成果、自己評価等を所管課が行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や施策の実施状況について点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見・助言をいただきました。

【点検及び評価に関する意見・助言をいただいた方】

学識経験者 氏名：森 弘 子 役職等：元小学校長

【意見・助言】

(1) 学校教育

○条件・環境整備については、情報機器、教材、学校図書、英語指導助手等の整備が進められている。一層、今日的教育のニーズに対応した整備の充実を期待する。

○教職員の指導力向上については、研修会・研究会の開催や指導主事派遣要請が行われ、より専門性を高める取組みが行われている。この成果は子どもたちにも還元される。一層の研修を期待する。

○児童生徒指導については、各学校が「問題行動等への取組年間実施計画書」に基づいて取組まれている。更には、学校間で連携し子どもたちの実態・課題を共通理解しながら推進されることを期待する。

(2) 社会教育

○芸術文化活動については、豊かな心を育む芸術鑑賞や展示物は町民には貴重な機会である。今後も多彩な芸術鑑賞の提供を期待する。

○体験活動、成人教室や大学講座、スポーツ教室・大会など、趣味や年齢に応じて取組める多様な活動が行われている。心身の健康と生きがいがいづくりに大きな役割を果たしており、今後も継続を期待する。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会議の開催及び審議状況

期 日	案 件 等
4月11日	〈議案〉 ・羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員の委嘱について
5月10日	〈議案〉 ・羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員の委嘱について
5月27日	〈議案〉 ・改元に伴う関係規則の整備に関する規則について ・羽幌町立公民館条例の一部を改正する条例について ・消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例について ・羽幌町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令について
7月30日	〈報告〉 ・教科用図書採択について 〈協議〉 ・平成31年度全国学力・学習状況調査の結果公表について
10月15日	〈議案〉 ・羽幌町立高等学校学則の一部を改正する規則について 〈報告〉 ・羽幌町教育委員会委員について 〈協議〉 ・新武道館について
11月28日	〈議案〉 ・令和2年度教育費（臨時費）予算要求について ・平成31年度教育費（臨時費）予算要求について 〈報告〉 ・令和2年度（2020年度）羽幌町立高等学校入学者選抜実施要項の策定について 〈協議〉 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表について ・新武道館の管理運営について

2月12日	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度羽幌町文化賞体育賞、羽幌町青少年文化賞スポーツ賞に係る受賞者の選考について
2月21日	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度羽幌町教育委員会点検・評価報告書について ・令和2年度羽幌町教育行政執行方針について ・令和2年度羽幌町教育予算に意見を申し出ることについて ・羽幌町教育委員会公告式規則の一部改正について ・羽幌町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部改正について ・羽幌町武道館設置条例施行規則の廃止について ・羽幌町教育の振興及び促進に係る事業補助金等交付要綱の一部改正について <p>〈協議〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽幌町総合体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
3月27日	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽幌町立学校教職員の人事の内申について ・羽幌町教育委員会の所管に属する職員の人事について ・羽幌町教育委員会決裁規程の一部改正について ・羽幌町教職員住宅管理規則の一部改正について ・羽幌町立学校管理規則の一部改正について ・羽幌町子どもの読書活動推進計画（第3次）の策定について <p>〈報告〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽幌町教育委員会教育長について

(2) 教育委員会議以外の活動状況

期 日	内 容 等
4月 1日	羽幌町教育委員会辞令交付式
3日	羽幌町立学校教職員着任式
4日	羽幌町子ども会育成連絡協議会総会
6日	羽幌町立羽幌小学校入学式
6日	羽幌町立天売小学校入学式
6日	羽幌町立羽幌中学校入学式
8日	北海道羽幌高等学校入学式
9日	北海道天売高等学校入学式
9日	第1回羽幌町立小中学校校長会議
10日	第1回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
10日	第1回第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会
10日	留萌管内公立学校長会議
10日	留萌管内小中学校長会「新任校長歓迎懇親会」
11日	羽幌町文化協会定期総会
16日	いちい大学入学式
17日	留萌管内市町村教育委員会協議会役員会・総会・研修会・懇談会
19日	羽幌町教育研究協議会総会
23日	羽幌町立小中高等学校長及び教頭合同会議
23日	教育行政懇談会
24日	NPO 法人羽幌町体育協会との懇談会
25日	第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会
5月 10日	羽幌町議会第3回臨時会
12日	第39回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会留萌地区予選会
14日	北海道町村教育委員会連合会総会・教育懇談会
16日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導訪問
18日	北海道太鼓ユースフェスティバル
19日	第29回羽幌町子どもフェスティバル
21日	留萌管内小中学校生徒指導担当者連絡協議会総会
21日	オロロンマラソン大会等実行委員会
22日	第1次定期監査（天売高等学校）
23日	第1次定期監査（天売小中学校・焼尻小中学校）
24日	羽幌町社会教育委員会議並びに羽幌町公民館運営審議会委員会議

26日	羽幌町ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会
29日	留萌管内女性活躍推進会議
29日	留萌管内コンプライアンス確立会議
29日	第2回第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会
6月 1日	第73回羽幌中学校体育大会
2日	島民大運動会（焼尻地区）
2日	北留萌消防組合消防本部、消防署、羽幌消防団春季消防演習
3日	公共施設現地調査
7日	第67回北海道公立文教施設整備期成会定期総会
8日	島民大運動会（天売地区）
9日	羽幌小学校大運動会
13日	義務教育指導監学校経営指導訪問
13日	羽幌町議会第4回定例会（14日まで）
20日	留萌教育局長学校訪問
21日	まちづくり政策会議
21日	第1回羽幌町青少年問題協議会幹事会議
22日	海老名市との災害時相互応援協定締結調印式
22日	石川県内灘町訪問団及び神奈川県海老名市訪問団との合同懇談会
26日	留萌地方中体連軟式野球大会
27日	義務教育指導監学校経営指導訪問
28日	学校給食センター運営委員会
29日	羽幌ロータリークラブ杯少年野球大会
7月 2日	第1回羽幌町青少年問題協議会
2日	義務教育指導監学校経営指導訪問
2日	指導主事学校教育指導訪問
8日	留萌教育局長学校訪問
11日	第56回北海道市町村教育委員研修会
11日	留萌管内高等学校学校運営指導訪問
11日	第2回羽幌町立小中学校校長会
12日	羽幌町教育研究協議会学校公開研究会
13日	天売高等学校オープンスクール（14日まで）
18日	指導主事学校教育指導訪問
18日	学校ブックフェスティバル
19日	第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会

23日	国際交流協会韓国訪問団交流会
23日	第3回第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会
23日	第1回留萌管内教育研究所管理委員会
24日	留萌管内教育長会議
28日	第41回宣言タイム制オロロンライン全道マラソン大会
8月 1日	内灘町・羽幌町姉妹都市文化体育交流事業歓迎夕食会
2日	内灘町・羽幌町姉妹都市文化体育交流事業交流夕食会
8日	オロロンライン全道マラソン大会実行委員会
20日	羽幌町戦没者追悼式
21日	三師会との懇談会
23日	指導主事学校教育指導訪問
27日	離島地区町政懇談会（焼尻）
28日	離島地区町政懇談会（天売）
28日	町と羽幌町体育協会との協議
29日	指導主事学校教育指導訪問
30日	離島地区学校訪問
31日	歌と踊りの交流まつり（羽幌町文化協会主催）
9月 1日	羽幌町防災訓練
4日	留萌管内学校における働き方改革推進会議
4日	留萌管内公立小中学校教職員人事推進会議
7日	「僕の主張わたしの主張コンクール」
9日	第4回羽幌町立小・中学校校長会議
11日	羽幌町議会第5回定例会（13日まで）
15日	羽幌町立焼尻小学校開校130周年記念式典・祝賀会
20日	第8回羽幌町教育委員会
20日	羽幌町敬老の集い
20日	羽幌町議会第6回臨時会
27日	おろちゃんマラソン大会実行委員会
10月 1日	義務教育指導監学校経営指導訪問
3日	留萌管内教育委員会教育長部会研修会
5日	北海道羽幌高等学校創立70周年記念式典・記念講演会
5日	ちびっこランド・小学校合同文化祭
6日	第72回羽幌中学校文化祭
8日	留萌管内市町村教育委員会委員研修会（9日まで）

12日	焼尻小学校文化祭
13日	第28回おろちゃんマラソン大会
15日	北海道運輸局鉄道関係功労者等表彰式
20日	羽幌小学校学芸会
21日	指導主事学校教育指導訪問
21日	天売高校令和2年度当初人事第一次協議
25日	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会
29日	指導主事学校教育指導訪問
30日	児童生徒読書感想文コンクール表彰式
11月 1日	第5回羽幌町立小中学校校長会
1日	羽幌町議会第7回臨時会
3日	第67回羽幌町民芸術祭 舞台部門発表会
6日	羽幌中学校教育実践発表会
6日	義務教育指導監学校経営指導訪問
7日	義務教育指導監学校経営指導訪問
8日	第2回羽幌町教頭会議
8日	おろちゃんマラソン大会実行委員会
12日	義務教育指導監学校経営指導訪問
19日	留萌教育局人事協議
20日	留萌地方小中学校事務職員協議会研究大会羽幌大会
21日	羽幌教育研究協議会
21日	留萌管内小中学校生徒指導担当者連絡協議会講演会
24日	はぼろコールスマイル結成7周年記念コンサート
26日	第3回社会教育委員会並びに公民館運営審議会議
27日	おろろんウインターフェスティバル実行委員会
29日	羽幌町功労・功績・特別表彰式及び祝賀会
12月 10日	義務教育指導監学校経営指導訪問
12日	羽幌町議会第8回定例会（13日まで）
16日	第6回羽幌町立小・中学校校長会議
17日	道立学校等管理職に係る人事協議
17日	いちい大学忘年の集い
23日	第3回留萌管内市町村教育委員会教育長会議及び教育懇談会
1月 9日	羽幌町立学校校長教頭合同研修会
12日	成人式式典

17日	いちい大学新年の集い
21日	GIGA スクール構想に係る説明会
24日	給食センター運営委員会
26日	町民スキー場「びゅー」まつり
31日	指導主事学校教育指導訪問
2月 6日	羽幌町教育研究協議会研究発表大会
7日	退職者激励会
7日	第7回羽幌町立小・中学校校長会議
14日	北部留萌地区特別支援教育研究連盟第2回合同学習会
14日	おろろんウインターフェスティバル実行委員会
27日	町立小中学校臨時休業（3月4日まで）
3月 2日	第61回北海道天売高等学校卒業証書授与式
2日	第70回北海道羽幌高等学校卒業証書授与式
2日	新型コロナウイルス対応に係るテレビ会議
4日	新型コロナウイルス対応に係るテレビ会議
4日	北海道天売高等学校臨時休業（3月24日まで）
5日	町立小中学校臨時休業（24日まで延長）
6日	羽幌町文化賞体育賞顕彰・羽幌町青少年文化賞スポーツ賞表彰伝達式
10日	羽幌町議会第1回定例会（13日まで）
12日	第73回羽幌町立羽幌中学校卒業証書授与式
19日	羽幌町立羽幌小学校第128回卒業証書授与式
19日	第73回羽幌町立天売小学校卒業証書授与式
25日	第8回羽幌町立小・中学校校長会議
26日	新型コロナウイルス対応に係るテレビ会議
26日	留萌管内教育委員会教育長会議
26日	第2回留萌管内教育研究所管理委員会

3 点検・評価報告書

《学校教育》

(1) 教育を推進するための条件整備

事務事業名	事業内容及び点検
情報通信機器を有効活用した多様な学習の展開	羽幌小学校及び羽幌中学校において、児童生徒の学習用パソコンを整備した。他の学校においても、引き続き情報機器の導入及び更新を図り、多彩な学習展開を図れるよう整備していく必要がある。
学校図書を整備及び活用の推進	平成 29 年度から 4 カ年計画として「学校図書館図書整備計画」を策定し、学校図書館図書標準（平成 5 年 3 月文部省策定）で定める図書標準冊数に達成するよう整備を行った。引き続き図書の適切な廃棄・更新を合わせ整備を行うことが必要である。
義務教材・理科教材の整備	理科教材をはじめ、各教材の更新を行った。引き続き計画的に教材の整備及び更新を図る必要がある。
英語指導助手の配置	<p>英語教育の指導方法向上と教育内容の充実を図るため、児童生徒が英語を理解し、英語を用いて表現できる基礎的な能力を養いコミュニケーション能力の醸成を目的として配置している。</p> <p>新学習指導要領の実施（小学校は令和 2 年度、中学校は令和 3 年度）を踏まえて学習指導方法の改善や英語指導助手の更なる活用が見込まれる。</p>
特別支援教育の支援	<p>発達障害のある児童生徒や、多動性・軽度の情緒障害などがある児童生徒が集団の中で学習を進める中で、支援員を配置し教職員と子ども達に対し、きめ細かなサポート体制を構築する。</p> <p>また、特別支援教育を基盤として、障害の有無にかかわらず児童生徒が互いの違いや個性を認め合う学校・学級づくりを目指している。</p>
スクールバスの運行	学校へ通学する児童生徒を運送するためスクールバスを運行すると共に原野地区の定期便を共用することにより地域交通にも寄与している。今後も運送を必要とする児童生徒や地域住民が見込まれ、継続して運行する必要があるとともに効率的な運行スタイルを確立する必要がある。

長期休業時の学習支援	<p>羽幌小学校において基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指すとともに、個々の希望による自主的な学習の場・機会として「長期休業中の学習サポート（夏スタ・冬スタ）」を実施。</p> <p>その際に教職員の補助的な役割として、地域住民ボランティアによるサポートを得ながら行なっているが、今後も継続的に実施できるように地域住民ボランティアを確保していく必要がある。</p>
体力向上・総合学習の支援	<p>体力向上の取組のため町内各小中学校において、「留萌管内どさん子元気アップチャレンジ」を実施。他校の児童・生徒と記録を競い合うことで、運動習慣の確立に努めた。総合学習の支援として、校外活動として移動する際にスクールバスを配車し、運営を補助した。</p>

(2) 教育環境の整備

事務事業名	事業内容及び点検
羽幌中学校トイレ改修工事	<p>羽幌中学校の既設トイレの便器について、その一部を洋式化した。校舎については 33 器のうち 18 器を改修し、体育館については、3 器すべての改修を実施し、校内全体のトイレ環境の改善が図られた。</p>
教職員住宅建設工事及び改修工事	<p>市街地区において、羽幌小学校及び羽幌中学校の教頭住宅 2 棟の整備を行った。また、焼尻地区においては、1 棟 2 戸の大規模改修、2 棟 4 戸の外部補修を実施し、教職員住宅の長寿命化を図った。</p> <p>老朽化が著しかった住宅の整備であるが、居住する教職員の生活環境の改善を図ることができ、その効果は大きい。引き続き他の教職員住宅においても、計画的な整備を実施し、教育環境の充実を図る必要がある。</p>
複合化施設の基本設計	<p>老朽化が著しい天売高校校舎及び水産実習室、天売総合研修センター、高齢者施設等の各施設を複合化するにあたり、その基本設計業務を実施した。</p> <p>当該業務では、建物の構造や設備、内外のデザイン等がまとめられ、施設の具体的な姿が提示されたほか、概算工事費が明示されたが、今後の実施設計に向け、その施工性や工事費の圧縮等、継続した検討が必要である。</p>

(3) 地域とともにある学校づくり

事務事業名	事業内容及び点検
コミュニティ・スクールの設置	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 47 条の 6 に基づき、羽幌小学校・羽幌中学校の 2 校で一つ、焼尻小学校に学校運営協議会を設置。協議会は一定の権限を持って学校運営に参画することで、地域の子どもの教育に対する課題や目標を学校運営に反映させ「地域と共にある学校」を構築していく。

(4) 教育の質を高められる環境づくり

教職員の指導力向上については、校内外研修・研究を計画的に実行し公開研究を行うなどして意見を求め、改善を図るよう指導・助言を行いました。

留萌教育局の義務教育指導鑑及び指導主事による学校訪問や教育委員会職員の派遣により、各学校の実態に応じ指導・助言を行いました。

(5) 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり

事務事業名	事業内容及び点検
児童生徒の問題行動等	いじめ等の問題行動に適切に対応する指導体制を継続するとともに、児童生徒が自分をコントロールできる力を育むよう指導・助言に努めた。各学校が「児童生徒の問題行動等への取組年間実施計画書」に基づき、いじめの未然防止や不登校への早期対応が適切に行われるよう取り組まれています。 また、各問題に対する相談体制を整え、関係機関との情報共有・連携を図り学校や家庭への支援を行いました。

(6) 高等学校教育の振興と幼児教育の推進

事務事業名	事業内容及び点検
天売高等学校生徒募集事業	学校・地域・行政が一体となって入学者募集活動（オープンスクール、パンフレットの作成、各中学校訪問等）を行った結果、島内から 1 名、島外から 3 名の生徒が入学した。今後も引き続き各機関との連携により生徒を募集していく必要がある。また、入学希望者がいても居住場所が無いことから、女子生徒や受け入れ生徒数に事実上制限が生まれていることが今後の課題である。

羽幌高等学校教育振興会補助事業	羽幌高等学校教育振興会補助事業（魅力ある学校づくり事業）にて、羽幌高等学校生徒に対し資格取得、部活動、学力向上、進路対策への補助を実施したことにより生徒の学習意欲向上及び進路実現への意欲向上、各種部活動の充実が図られた。
天売高等学校学生寮運営事業	天売島外の進学希望者を一定程度受け入れるものとして、平成30年度から寮の運営を開始。天売島出身者を管理人とし施設の運営管理を委託するなど学校・地域と連携した適切な寮の運営管理に努めている。今後も引き続き各関係機関との連携により当校に進学しやすい環境整備及び寮の運営に努める。

（7）学校給食の充実

事務事業名	事業内容及び点検
施設及び設備整備事業	心身の発育における児童生徒へバランスのとれた食事の提供はもちろんのこと、給食センター施設設備の老朽化に伴い更新を行わなければならない所が数か所見受けられる。児童生徒はもちろんのこと調理員などにも安心安全な環境を整えなければならない。

《社会教育》

（1）幼児・青少年教育

事務事業名	事業内容及び点検
子ども自然教室	多様な体験活動を通じて、わが町の自然や歴史について学び、観察し、体感し、親しむことによって豊かな情操や人間性を養い、郷土を愛する心を育むことを目的として開催している。 本年度は年8回開催、延べ152名が参加した。
ほっとクラブ	放課後子ども教室として小学校全学年を対象に月2回程度の範囲で教室を開催している。また、夏休み期間は低学年を対象としたキャンプ事業を実施している。本事業は放課後児童クラブ（こぐま児童会）と連携し、児童の生育環境の充実を図っている。 本年度は年9回開催、延べ152名が参加した。
優良青少年顕彰	青少年の善行に対する顕彰制度。令和元年度は受賞者なし。

<p>芸術鑑賞事業 (小中高生)</p>	<p>児童生徒を対象に学校及び社会教育が連携し、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで、歴史、伝統、文化に対する理解を深め、尊重する態度や文化芸術を愛好する心情を涵養し、次代を担う児童生徒の豊かな心を育むことを目的として開催した。</p> <p><中高生向け芸術鑑賞> 令和元年7月16日 中央公民館大ホール 11時～12時20分 「TAKERU 猛～日本和太鼓ライブ」 鑑賞者数392名</p> <p><小学生向け芸術鑑賞> 令和元年8月27日 羽幌小学校体育館 11時～12時15分 「ひのき屋のわいわい音楽隊(音楽)」 鑑賞者数341名</p>
<p>青色防犯パトロール・子ども110番の家</p>	<p>青色回転灯による防犯パトロールを実施した。また、通学路を中心に町内事業所の協力を得て、不審者など緊急時に避難できるよう「子ども110番の家」を設置し、子供たちの安心安全な登下校が図られるよう努めた。</p>
<p>羽幌町文化体育交流事業実行委員会補助事業(姉妹都市青少年交流事業)</p>	<p>姉妹都市(石川県内灘町)との親睦を深めるため、両町の青少年が交流することで互いの絆を深め、姉妹都市としての意義を後世に引き継ぐことを目的として実施した。令和元年度よりスポーツ少年団又は文化団体による交流が継続困難となり、事業の見直しを行い、両町の小学生同士(5～6年生)による歴史・文化・自然・食などの体験交流を主とした事業内容に変更した。本年度は内灘町が当町を訪問し、当町の小学生と天売島・焼尻島で自然体験交流を実施した。本補助事業により両町の歴史文化や姉妹都市としての絆を深めることができた。</p>

(2) 成人教育

事務事業名	事業内容及び点検
<p>成人講座</p>	<p>公民館では、エコクラフト・トールペイント等のものづくり講座やべこ餅作り等の料理教室など、多種多様な分野・内容の講座を実施した。全3講座、延べ27名。</p> <p>講座の開催に当たっては、地域人材の活用や専門講師の協力を得るなど、工夫を凝らしながら取り組んでおり、多様な学習機会を提供できた。</p>

高齢者大学事業 (いちい大学)	高齢者の学びの場として、「いちい大学」を開設。仲間づくりや趣味・教養、健康の維持・増進など、健康で豊かな日常生活を過ごすための多様な講座を開催し、高齢者の社会参加の促進と生涯学習の推進を図った。本年度の大学生は 40 名。
成人式	新成人に、大人になることの自覚を持ってもらうとともに激励とお祝い場として実施。本年度は新成人 45 名が参加。
天売高等学校開放講座事業	離島地区成人講座として、天売高校において料理教室を開講した。高等教育機関の専門性や幅広い分野でのノウハウを生かした講座内容となっており、多様な学習機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与した。
羽幌高等学校 PTA 地域探訪・教養講座補助事業	PTA 地域探訪では参加者 30 名が焼尻島を訪問し、めん羊まつり等に参加した。教養講座では、パソコン教室・国際交流教室・カップス教室・大人の古典教室・野球論教室を開催し、高等教育機関の専門性や幅広い分野でのノウハウを生かした講座内容となっており、これらの開催経費に補助支援をしたことにより、生涯学習の推進に寄与した。

(3) 家庭教育

事務事業名	事業内容及び点検
羽幌町青少年問題協議会	青少年の健全育成のため、青少年の指導、育成、保護及び矯正を図るため協議会を設置。令和元年度の指導実績はなし。
羽幌町子ども会育成連絡協議会補助事業	子どもフェスティバル、ぼくの主張わたしの主張コンクール、町内かるた大会の開催、北海道子どもかるた大会北留萌地区予選会並びに全道大会の参加に係る経費について支援したことにより、青少年の健全育成の一助とすることができた。
羽幌町 PTA 連合会補助事業	町内の各学校 PTA の連携を図り、社会教育・PTA 研究大会の開催や管内 PTA 研究大会等の出席に係る経費について支援したことにより、家庭・学校・地域の教育力向上に寄与した。

(4) 健康づくり、スポーツ活動

事務事業名	事業内容及び点検
総合体育館指定管理事業	5年間の指定管理業務の4年目に於いて、随時打ち合わせ等を行い、全体的に仕様書及び協定書等の水準は十分に満たしている。特に個人利用者によるランニングコースやトレーニングルームの利用が増加となった。又、 武道場増築により協定変更を行った。
スポーツ教室	<p>参加人数 少年少女水泳教室 合計 100名 幼児水泳教室 合計 36名 コオーディネーション普及事業 合計 47名 (離島 17名、市街 30名)</p> <p>各教室のニーズに合った運動の動機づけとなり、実際に体力向上に寄与した。</p>
学校プール開放	<p>羽幌町高齢者事業団委託事業にて実施。</p> <p>利用人数 年間 74日間 合計 1,326名 維持管理及び監視業務を確実に遂行し、事故等なく終了することができた。</p>
マラソン大会事業	<p>参加人数 オロロンライン全道マラソン大会 合計 206名 参加人数 おろちゃんマラソン大会 合計 360名</p>
町民スキー場 びゅーまつり	<p>来場者約 350名 スキーリフト利用者 2,228名 昨年度から行われている記録会は雪不足の為、中止となったが祭り自体は盛り上がり、スキー場の利用拡大のイベントとして寄与した。</p>
おろろんウィンターフェスティバル	<p>おろろんウィンターフェスティバル実行委員会にて実施。 雪不足のため中止となった。 羽幌町内の児童及び生徒を主に冬季の数少ない町のイベントである。</p>
武道館建替事業	<p>行町・萌州・北一特定JVにより平成30年10月24日に着工し、令和2年2月28日に完成。</p>

(5) 文化活動

事務事業名	事業内容及び点検
文化事業実行委員会補助事業	<p>(1) 北海学園大学第 57 回地方公演（羽幌公演）H31. 6. 2 開催 鑑賞者数 60 名（無料）</p> <p>(2) 北海道歌旅座～羽幌公演 R1. 6. 10 開催 鑑賞者数 240 名（有料 2,000 円～2,500 円）</p> <p>(3) 北海道歌旅座～離島公演 R1. 6. 11～12 開催（町と共催） 鑑賞者数 各 50 名（無料）</p> <p>(4) 佐々木忍弥～羽幌町凱旋コンサート R1. 9. 15 開催 鑑賞者数 320 名（有料 2,000 円～2,500 円）</p> <p>(5) 宝井梅福～講談の夕べ（講談師 20 周年・真打 10 周年記念公演） R1. 10. 12 開催、鑑賞者数 104 名（有料 1,000 円）</p> <p>(6) はぼろコールスマイル結成 7 周年記念コンサート（協力） R1. 11. 24 開催、鑑賞者数 330 名（有料 500 円）</p> <p>本年度は離島 2 公演を含め全 7 公演（うち羽幌町出身者による公演 3 件）を開催又は実施協力し、例年に比べ公演数が非常に多い年であった。演目は大衆音楽から三味線、日本民謡、講談、コーラスなど幅広いジャンルであり、総計 1,154 人は鑑賞し、全公演において予定数を越えた入込みであった。これら開催経費に補助支援したことにより、町民の芸術・文化に対する関心と日常の活動意欲を高め、文化振興に寄与した。</p>
のびのび子育て公演	<p>未就学児を対象に本年度は小沢かづと 園児向け・親子向けライブとして、オリジナルのあそび歌・手あそび・体操あそび・集団あそびなど、多様な演目による講演を実施し、子どもたちの情操教育を図ることができた。</p> <p>鑑賞者数は約 180 名。（幼児：約 160 名、一般：約 20 名）</p>
天売焼尻芸術劇場	<p>島民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、各島において「北海道歌旅座～昭和のうたコンサート」を開催した。舞台は島バージョンの一部構成とし、羽幌公演の圧縮版（90 分）で実施したが、当日はアンコールも含め 15 分延長し、会場は大いに盛り上がっていた。優れた舞台音楽を鑑賞することにより、島民の文化芸術に対する関心を高め、文化芸術活動の促進を図るとともに、明日への活力を養うことができた。各島ともに鑑賞者数は 50 名であった。</p>

中野北溟記念室管理	中野北溟氏から書145点の寄贈を受け、額装委託先で全書を保管・管理しており、5カ年によりすべての額装を完了する計画である。本年度を以って全145点の額装が完了し、記念室で展示及び保管している。本町に所縁のある中野北溟氏の作品を町内外に広く発信することで、文化芸術の促進と地域活性化に寄与している。
町民芸術祭実行委員会補助事業	公民館を拠点として活動している文化サークル団体等の日頃の活動成果を発表する場であり、開催にあたってはこれらの団体で構成する実行委員会による運営が行われており、参加団体間の連携協力や相互理解を深める場にもなっている。芸術祭では舞踊や郷土芸能、写真や絵画など様々な発表・展示を行い、文化芸術活動の推進に寄与した。展示部門1005作品、体験型イベント7団体、舞台部門14団体参加。
芸術鑑賞バスツアー事業	奇蹟の芸術都市バルセロナ展 - ガウディからピカソ、ミロ、ダリまで - (参加者17名)を鑑賞し、町民への優れた芸術文化の鑑賞機会の提供に寄与した。
羽幌町郷土芸能団体保存育成補助事業	本年度は郷土芸能9団体に対して備品整備及び各種発表会等の経費に補助支援し、郷土芸能の保存と振興及び後継者の育成に寄与した。なお、本補助事業は平成27年度から平成31年度まで5か年の時限補助制度であり最終年度となる。

(6) 読書活動

事務事業名	事業内容及び点検
ブックスタート事業	町内の乳幼児9ヶ月検診時に、ファーストブックとトートバッグ等をプレゼントし絵本の読み聞かせによる子育て支援を行っている。
おはなし会補助事業	あざらしおはなし会の活動補助。毎月定期的な公民館図書室でのおはなし会の開催や町内の施設等での出前おはなし会の開催、図書室の読書活動推進事業への協力により読書活動推進に寄与している。
学校図書館ブックフェスティバル事業	羽幌小学校で開催。道立図書館の支援事業を活用し、学校との連携により児童への読書活動の活性化を進めている。 ブックフェスティバルでの総貸出冊数 861冊

セカンドブック事業	小学校新1年生にセカンドブックをプレゼントすることにより、子どもの自発的な読書活動を支援し、図書室の利用促進を進めている。 対象児童 52 名へプレゼント実施
学校図書館連携事業	学校訪問、システムによる蔵書の管理・装備を行い、学校図書館の環境整備を図り児童生徒の利用促進、読書活動を支援している。
読書感想文コンクール	町内小中学校の協力のもと夏休みの課題として取組み、入賞者を表彰。最優秀賞作品は全道コンクールへ出品している。読書の感動を文章で表現し、作品の発表を行うなど子どもたちの貴重な体験の場となっている。

4 参考資料

平成 31 年度 羽幌町教育行政執行方針

羽幌町教育行政執行方針

■ はじめに

技術革新やグローバル化の進展等により、社会の変化を正確に予測することは、ますます難しい状況となっています。

このような社会の変化の中で、将来の展望を踏まえ、個人と社会の目指すべき姿として、個人においては、「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成」、社会においては、「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」が求められています。

こうした個人と社会の目指すべき姿を実現するため、教育の役割として、「自立」「協働」「創造」の三つの方向性を実現するための生涯学習社会の構築を継続して進める必要があります。

児童及び生徒においては、これまでの実践や蓄積を活かした取り組みにより、学力の底上げ、学習時間、学習状況において一定の改善が見られる状況となっていますが、一方で、学習したことを活用して、生活や社会の中で出会う課題の解決に生かしていくという面、読解力の低下、また、自然の中で豊かな体験をしたり、文化芸術を体験する機会が限られている状況から、体験活動の機会の確保などが課題として挙げられています。

このような状況の中、学校教育では、これまで育んできた「生きる力」や、その中で重視されてきた「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の現代的な意義を改めて捉え直し、夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力を確実に育んでいくことが重要となります。

また、近年は、学校に求められる役割が増大し、教員にかかる負担の増大による勤務時間の超過等が課題となっています。

教員の負担の増加に対しては、「学校における働き方改革『北海道アクションプラン』」に基づき作成しました「羽幌町立学校における働き方改革の実施計画」により、取り組みを進める必要があります。

社会教育では、生涯にわたり必要な知識や技能、技術を学び、活用し、知的・人的ネットワークを構築し、人生の可能性を広げて新たなステージで活躍するというサイクルを実現し、人生を豊かに生きられる環境を整備することが不可欠であり、全ての住民が地域社会の構成員として社会参加できる環境づくり、社会の変化に対応した学習機会の

提供が重要となっています。

羽幌町教育委員会といたしましては、学校教育と社会教育が連携を図り、社会の変化に対応した教育行政の推進に取り組みます。

■ 学校教育

1 教育を推進するための条件整備

各学校においては、学力・体力の向上に向け、個別指導・習熟度別指導、新体力テストの実施など、様々な取り組みを積極的に進めており、ソフト及びハードの両面から学校現場に視点を置いた条件整備に努めます。

【主な事業】

情報通信機器の整備、学校図書の本整備及び活用の推進、義務教材・理科教材の本整備、英語指導助手の配置、教育支援員の配置、特別支援教育の支援、スクールバスの運行、長期休業時の学習支援、体力向上・総合学習の支援（継続）

2 教育環境の整備

学校施設は、子どもたちの学習と生活の場であると同時に、地域住民の学習の場としても活用されています。

各学校の施設及び設備、教職員住宅につきましては、緊急度を勘案しながら計画的な整備・改修を進めます。

【主な事業】

羽幌中学校トイレ改修工事、焼尻地区教職員住宅改修工事（新規）
天売複合化施設基本設計（継続）

3 地域とともにある学校づくり

子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭、地域、行政、それぞれが連携することが重要であり、学校の教育活動や学校運営の状況を積極的に保護者、地域住民等へ情報提供するとともに、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指し、取組を進めます。

【主な事業】

コミュニティ・スクールの運営支援（継続）

4 教育の質を高められる環境づくり

学校が、教育機能を十分発揮するためには、管理職を含む教職員が「チーム学校」として組織的な連携のもと、常に資質・能力の研鑽に努め、自らの役割を的確に果たすことが重要です。このため、求められている専門職としての知識や能力の向上を図るための研修機会を提供するとともに、学校や教職員の多岐にわたる業務を改善し、授業や授業準備等、本来の業務に集中できる環境を構築するため、「学校における働き方改革『北海道アクションプラン』」に基づき、北海道教育委員会及び学校、関係機関と連携し、取組を進めます。

5 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり

児童・生徒が心身ともに健全な人間性と社会性を育むためには、規則正しい生活習慣の育成と問題行動を未然に防止することが重要です。

生活習慣の育成については、児童・生徒の生活リズムの向上に向け、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を継続し、朝食をとらずに登校することなどがないよう、家庭や学校、地域と連携し、運動を進めます。

また、児童・生徒の問題行動については、いじめ、不登校と併せて、インターネットによるトラブルが複雑化の傾向にあり、適切な対応が求められています。

児童・生徒の小さな変化を見逃すことなく、学校、家庭、地域、行政が連携し、情報の共有化を図り、問題解決に向けた指導及び支援体制の整備に努めます。

6 高等学校教育の振興と幼児教育の推進

天売高等学校は、進学、就職に備えた修学形態のもと、きめ細やかな教育に加え、水産資源を活用した製造実習、年度ごとにテーマを掲げた研究など、地域と連携した特色のある教育を実践しています。

今後も、教育環境の充実を図り、計画的な管理を進めるとともに、課題となっております入学者の確保に向け、学校、地域、行政が一体となり、取組を進めます。

羽幌高等学校は、生徒の多様な進路に適合した教育課程を編成し、日頃から地域の期待に応える学校づくりが推進されています。今後も、同校の進める魅力ある学校づくりに対して、資格取得、部活動、学力向上、進路対策、通学費、入学支度への支援を実施し、地元高校への志向が高まるよう努めます。

幼稚園教育については、私立幼稚園・認定こども園とも、それぞれの特色を活かした教育活動が推進されており、教育活動の支援に努めます。

【主な事業】

天売高等学校生徒募集事業、天売高等学校学生寮運営事業、羽幌高等学校教育振興会補助事業（継続）

7 学校給食の充実

学校給食は、可能な範囲で地元食材を取り入れ、児童・生徒の健全な成長に必要な栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、日常生活における正しい食事のあり方や望ましい食習慣の形成、食に対する感謝の心など、多くの要素が含まれることから、食育の教育として指導に努めます。

また、施設運営につきましては、離島地区も含め衛生面や調理場内の環境改善をはじめ、計画的に施設や調理機器の整備や更新を進め、安心安全な学校給食の提供に努めます。

【主な事業】

施設及び設備整備事業（炊飯システム及び給水管更新工事など）（継続）

■ 社会教育

1 幼児・青少年教育

ひとりでも多くの子どもたちが健やかに成長するためには、地域全体で子どもを育てていくことが重要となります。

このため、各関係機関と連携を密にし、子どもたちの様々な体験活動やスポーツ・文化活動への関心を助長し、向上心や主体性を培う活動を支援します。

また、子ども自然教室などの事業を通して、身近な地域の現状を知る機会を作り、ふるさとを愛する心を育む活動を促進します。

【主な事業】

子ども自然教室、ほっとクラブ、子ども英会話教室、優良青少年顕彰、中高生講演事業、子どもパトロール隊、子ども110番の家、姉妹都市文化スポーツ交流（継続）

2 成人教育

日々の生活の中に「うるおい」や「喜び」の提供や、「人生の生きがい」を見いだす一助となるよう、「成人講座」の開設など、今後も多くの学習機会の提供や自主的なサークル活動への支援を行います。

また、60歳以上の方を対象とした「いちい大学」においては、健康で明るい生活を

築く学びの機会を提供するとともに、生きがいつくりと社会参加の促進を図ります。

【主な事業】

いちい大学、成人講座、成人式、天売高等学校開放講座事業、羽幌高等学校PTA地域探訪・教養講座補助事業（継続）

3 家庭教育

すべての教育の原点である家庭教育は、基本的な生活習慣や、他人に対する思いやり、社会的なルール、学習に対する意欲や態度などの基礎を培う重要な役割を担っています。

家庭の教育力向上には、その中心となる親が子どもの教育を行うための知識・技能と態度について学ぶことが必要であり、また、親と子どもの成長を社会全体で支えることが必要です。そのための学習機会や情報の提供を、これまでと同様に行います。

【主な事業】

羽幌町青少年問題協議会、羽幌町子ども会育成連絡協議会補助事業、羽幌町PTA連合会補助事業（継続）

4 健康づくり、スポーツ活動

スポーツは、体力向上や生活習慣病の予防など心身ともに健康で充実した生活を送るためには欠かせないものです。

今後もだれもが気軽にスポーツ活動に親しみ、参加できる環境の充実を図ります。

また、子どもから高齢者までを対象にこれまで実施してまいりました「コーディネーショントレーニング」を取り入れた運動を、今年度から離島地区も含め羽幌町体育協会と連携を密にし、活動を推進します。

施設面では、懸案事項でありました武道館の建替えについては、今年度中に完成予定であることから、必要な備品の整備やオープン事業の準備を進めます。

【主な事業】

武道館建替事業、総合体育館指定管理事業、スポーツ教室（コーディネーショントレーニング、水泳）、学校プール開放、マラソン大会事業、町民スキー場びゅーまつり、おろろんウィンターフェスティバル（継続）

5 文化活動

芸術文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらすとともに、心豊かな活力ある社会形

成にとって極めて大きな意義があります。

このため、文化・芸術活動を広く奨励し、羽幌町文化協会への支援を行うほか、町民芸術祭や文化公演事業などを開催し、文化活動の場や鑑賞、発表の機会を引き続き提供していきます。

【主な事業】

文化事業実行委員会補助事業、のびのび子育て公演、少年少女芸術鑑賞事業、離島地区芸術劇場、中野北溟記念室管理、町民芸術祭実行委員会補助事業、芸術鑑賞バスツアー、羽幌町郷土芸能団体保存育成補助事業（継続）

6 読書活動

ここ数年、「読書離れ」が指摘されていますが、幼い頃からの読み聞かせ等の体験は、子どもの成長の中で少しずつ身についていくものであり、豊かな感性、人間性を育てていくためにも一貫した読書活動の取組みが重要であると考えています。

ブックスタート事業による子育て支援に始まり、毎月のおはなし会、小学一年生を対象としたセカンドブックプレゼント事業、各学校への司書派遣による学校図書館の環境整備や図書の実、ブックフェスティバルの開催等、年齢に対応した事業を展開し、読書活動の推進に努めます。

また、生涯を通じた学習の場として、図書室の資料を活用した講座等を開催し、赤ちゃんからお年寄りまで、利用者に寄り添い地域に根差した、身近で利用しやすい公民館図書室の充実を図ります。

【主な事業】

ブックスタート事業、おはなし会補助事業、学校図書館ブックフェスティバル事業、セカンドブック事業、学校図書館連携事業、読書感想文コンクール事業、図書室講座事業（継続）

以上、「第6次羽幌町総合振興計画」及び「羽幌町教育大綱」を踏まえ、平成31年度の羽幌町教育行政執行方針を申し上げます。その執行にあたりましては、学校教育、社会教育、各関係機関、団体等と密接な連携を図りながら、本町教育の振興発展に努めます。